

## 評価対象となる「非認知能力」9つ

# 非認知能力

数値化して評価することが難しい能力。=人間力

3つの認知能力と17つの非認知能力が存在すると言われている。

**① 主体性**  
自分の意志や判断によって責任をもって行動する姿勢、および遂行しようとする意欲

**② 問題解決能力**  
論理的思考力の要素である「物事の意味を正しく捉え、自分の理解度や対応できる範囲を把握したうえで、問題解決に当たることができる力」をベースとし、自分で考え、本質的な問題を発見し、解決策を立案する。さらに、それを臨機応変かつ適切に対応しながら遂行（実行し成果を出す）することができる力

**③ 批判的思考力**  
論理的思考力の要素である「主観的な事柄と客観的な事柄とを区別したうえで、根拠に基づいて判断し、さらに、筋道立てて考えることができる力」をベースとし、他者および自分の考えに対して熟考し、先入観にとらわれずに、俯瞰的な視点から考えることができる力

**④ コミュニケーション能力**  
お互いの気持ちや感情を理解・尊重し合いながら、適切なタイミングや表現方法で自分の感情や意思を伝えたり、他者を受け入れたりして、信頼関係を築くことができる力

**⑤ 自己管理能力**  
自分の目標や目的を達成するため、または集団のルールの中で自分の役割を果たすために、自分を律し、管理し、自己を分析することができる力

**⑥ 探究心**  
物事の本質を捉えようとする姿勢、および本質や意義について、より掘り下げて見極めようとする意欲、および好奇心

**⑦ 独自性**  
独自の観念で行動しようとする姿勢。新しいアイデアや他者と異なった感性を生かすことのできる力

**⑧ 自己肯定感**  
自分のあり方を積極的に評価できる感覚、および自分の価値や存在意義を肯定できる感覚

**⑨ 協働力**  
異なった環境や立場にある複数の他者と、助け合ったり、譲り合ったりして、お互いを尊重し合いながら、同じ目標や目的を達成できる力

引用元：[一般財団法人日本生涯学習総合研究所](#)（クリックで閲覧可能）

非認知能力は性格的特質と能力的特質に分類される。上記の9つの力はその後者であり、大人になってからも育むことが可能である。これからは非認知能力が認知能力よりも求められる時代になると言われており、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省に加え、OCEDもその意見を強く指示している。

# 非認知能力 ルーブリック評価

※ルーブリック評価において非認知能力における「持続性・安定性」を重視しております。

ONLINE AO ルーブリック評価	4 (S)	3 (A)	2 (B)	1 (C)	0 (D)
<b>主体性</b>	能動的に物事を思考することは勿論、責任を持って積極的に行動することが連続的かつ永続的にできる	安定して能動的に物事を思考することができ、行動を起こそうとする意欲が断続的だが継続的に持てる	断続的かつ頻度は高くはないものの、自ら物事を考え、他者に頼らず行動することができる	能動的に物事を考えられる時とそうでない時があり、主体性における継続性・安定性に欠けている	主体的に物事を考えることができていない
<b>問題解決能力</b>	常に論理的に考え本質的な問題を発見し、課題解決のために臨機応変かつ適切に対処することができる	論理的に思考することで課題を発見し、トライ&エラーを繰り返しながらも継続して解決に取り組める	断続的ではあるが論理的に思考し課題に対する解決策を模索し改善しようと行動することができる	稀に特定の課題に対して論理的に考え解決策を提案することができるが、大きく継続性・安定性に欠けている	課題に対して論理的に思考できず、解決するための行動を起こすことができていない
<b>批判的思考力</b>	他者や自分の考えに対して常に先入観にとらわれずに論理的かつ俯瞰的な視点から考えることができる	先入観にとらわれることなく安定して物事を多角的な視点から思考することができる	断続的で安定してはいないものの、物事を俯瞰的に捉え理解することができる	稀に物事を複数の視点からに思考することができるが安定しておらず、継続してクリティカルに思考できない	先入観にとらわれず、物事を俯瞰的な視点から考えることができていない
<b>コミュニケーション力</b>	常に他者の感情を理解・尊重しながら、自分の意見を適切なタイミングや方法で表現することが容易にできる	安定して他者の感情を理解・尊重しながら、自分の意見を適切なタイミングや方法で表現することができる	断続的ではあるものの、他者の感情を理解・尊重しようとしながら、自分の考えを表現することができる	安定して他者の意見を理解することや自分の意見を表現することができていない	相手の感情を理解、尊重しながら、適切な発言タイミングで相手と意思疎通することができていない
<b>自己管理能力</b>	常に自分の目標や目的を達成するために、自分を律し、管理し、自己を分析することができる	安定して自分の目標や目的を達成するために、自己を分析、管理し、律することができる	断続的ではあるものの、自分の目標や目的を達成するために、自己を分析、管理し、律することができる	自分の目標や目的を達成するために、自己を分析、管理し、律するという習慣がなく、持続性に欠ける	自分の目標や役割を達成・遂行するために自分を律し、管理し、自己を分析することができていない
<b>探究心</b>	物事の本質や意義について掘り下げて見極めようとする意欲が常に旺盛で調べ学習を積極的かつ持続的に行える	物事の本質や意義について掘り下げて見極めようとする意欲があり、調べ学習を積極的に行える	断続的ではあるものの、物事の本質や意義について掘り下げて見極めようとする意欲があり、リサーチもできる	物事の本質や意義について掘り下げて見極めようとする意欲は多少あるものの、リサーチ量も平均より乏しい	物事の本質を捉えたり、掘り下げたりする意欲がなく、リサーチもしない
<b>独自性</b>	日常的に新しいアイデアや他者と異なった感性を持って独自の観念で行動することが容易にできる	積極的に新しいアイデアや他者と異なった感性を持って独自の観念で行動することができる	断続的ではあるが、自分なりに新しいアイデアを模索しながら他者と異なった観念で行動することができる	新しいアイデアを模索する意欲はあるが独創性に欠け、独自の観念で行動することができていない	新しいアイデアや他者と異なった感性を持って独自の観念で行動する意欲も能力もない
<b>自己肯定感</b>	常に自分のあり方や存在意義を積極的に評価・肯定することができ、その感覚を持続的に保つこともできる	自分のあり方や存在意義を積極的に評価・肯定することができる	断続的ではあるが、自分のあり方や存在意義を評価・肯定することができる	自分のあり方や存在意義に対して評価・肯定することに消極的であり、自己評価も低い	自分のあり方を積極的に評価するという感覚がなく、自分の価値や存在意義を肯定できていない
<b>協働力</b>	常に積極的に異なった環境や立場にある他者と助け合ったり、尊重し合いながら、目標や目的を達成できる	異なった環境や立場にある他者と助け合ったり、尊重し合いながら、目標や目的を達成できる	ある特定の異なった環境や立場にある他者と断続的ではあるが協働して目標や目的を達成することができる	稀ではあるが、異なった環境や立場にある他者と協働して目標や目的を達成しようとする意欲はある	異なった環境や立場にある複数の他者と、互いに助け合ったり、尊重し合いしながら目標や目的を達成できない